

広島市佐伯区の五日市南中
が、職業観を育むキャリア教育の優良校として2011年度文部科学大臣表彰を受けた。幅広い職種の新隣住民を講師に招く地域と連携した取り組みが評価された。1日、市役所で生徒が実践報告した。

同校を代表し、2年深川修君(14)が市教委の尾形完治教育長を訪ねた。授業の様子を写真で紹介しながら「ゲストティーチャーの『努力を続ければいつか夢はかなう』との言葉が胸に残った」「職場体験で仕事の大変さを思い知った」などと報告。尾形教育長

五日市南中に大臣表彰

幅広い職種の住民講師に

キャリア教育優良校



は「素晴らしい取り組み」とたたえた。

同校は09年度から毎年、全学年で近隣住民を講師に招いている。11年度は薬剤師や気象予報士、作家など約40人から働きがいや失敗談などを聞いた。市立広島商業高教諭からビジネスマナーを学ぶなど高校とも連携する。

本多雅一校長は「地域全体で獲得した賞。今後も協力をお願いしたい」と話した。

(田中美千子)

近隣住民を講師にした授業で学んだことを報告する深川君(左端)